

平成 28(2016)年 12 月 血液製剤使用状況

略号	分類	施設数	一般病床数※
A	三次救急病院	6	3,283
B	救急病院（300 床以上）	8	3,300
C	救急病院（200～299 床）	10	2,489
D	救急病院（100～199 床）	22	3,450
E	救急病院（100 床未満）	18	1,045
F	救急でない病院	17	1,020
計	—	81	14,587

※ 医療法施行規則第 30 号の 33 該当病床を除く。

【概要】

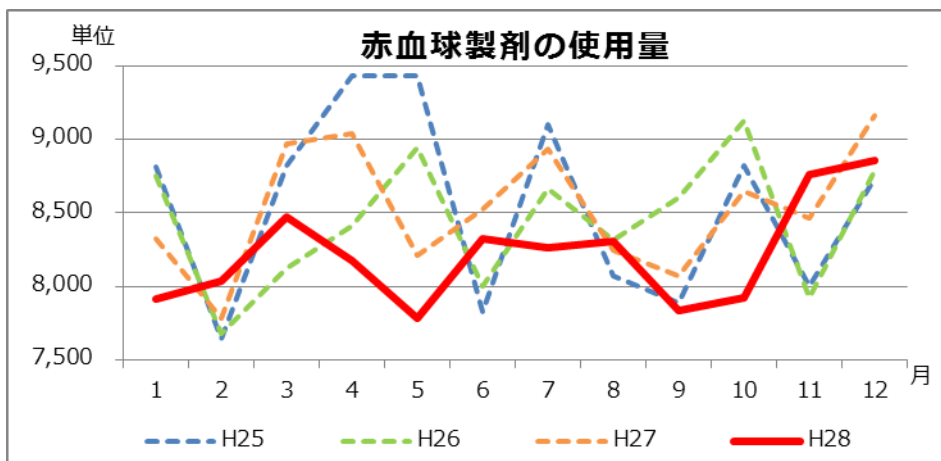
- ・ 当月の赤血球製剤の使用量は 8,857 単位（前年同月比 96.7%）、平成 28 年では最も多かった。
- ・ 当月の血小板製剤の使用量は 18,090 単位（前年同月比は 99.8%）、平成 28 年では最も多かった。
- ・ 当月の血漿製剤の使用量は 261.6L（前年同月比は 105.3%）。
- ・ 当月のアルブミン製剤の使用量は 34,420.5 g（前年同月比 94.6%）。
- ・ 当月の自己血の使用量は 79.9 L（前年同月比 105.7%）。
- ・ 当月の廃棄率は、赤血球製剤 1.38%(124 単位)と 5 か月連続減少傾向。血漿製剤は 2.94%(7.9L)、自己血は 6.88%(5.9L)であった。

【2016(H28)年の速報】

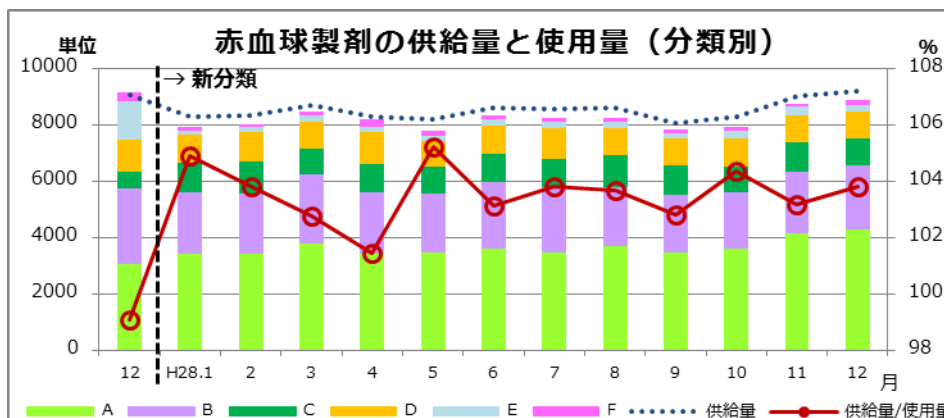
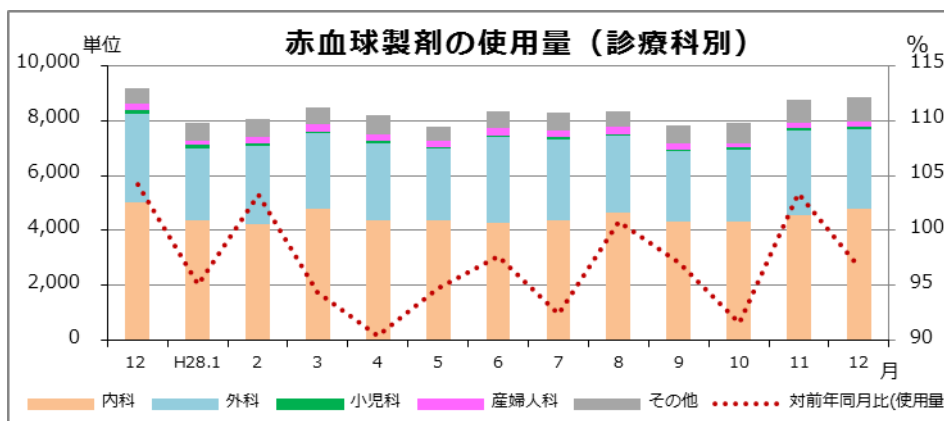
- ・ 使用量は赤血球製剤 98,649 単位(対前年比 96.3%)、血小板製剤 193795 単位(同 90.8%)、血漿製剤 3044.16L(同 91.0%)、アルブミン製剤 396,740.3g(同 93.8%)、自己血 1,004L(同 98.5%)。
- ・ 廃棄は赤血球製剤 2,085 単位(2.07%)、血小板製剤 225 単位(0.12%)、血漿製剤 88.68L(2.83%)、自己血 83.3L(全体 7.66%、貯血 10.10%)。

● 赤血球製剤

分類	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	4,271	2,152	1,118	51	116	834	4,271	100.0
B	2,275	1,155	1,004	32	68	16	2,275	100.0
C	972	562	382	0	10	18	972	100.0
D	960	646	296	0	0	18	960	100.0
E	231	159	72	0	0	0	231	100.0
F	148	103	39	0	0	6	148	100.0
集計	8,857	4,777	2,911	83	194	892	8,857	100.0

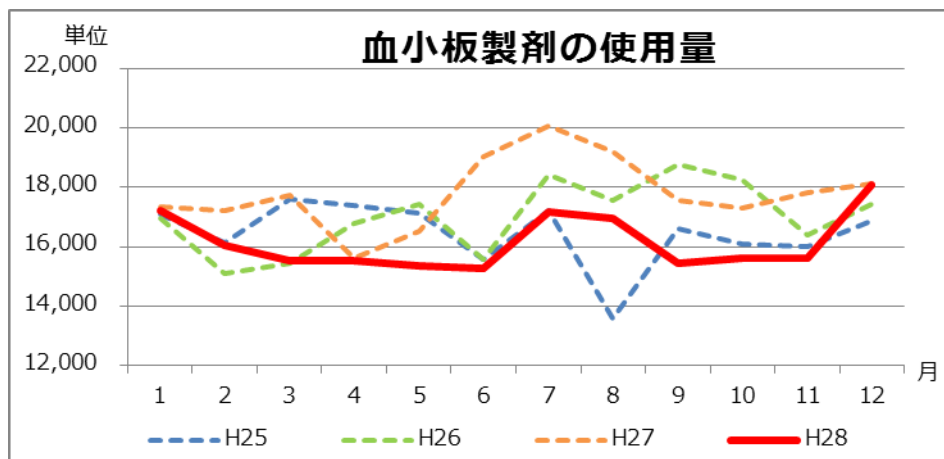


	AVERAGE
H25	8,549
H26	8,444
H27	8,532
H28	8,221

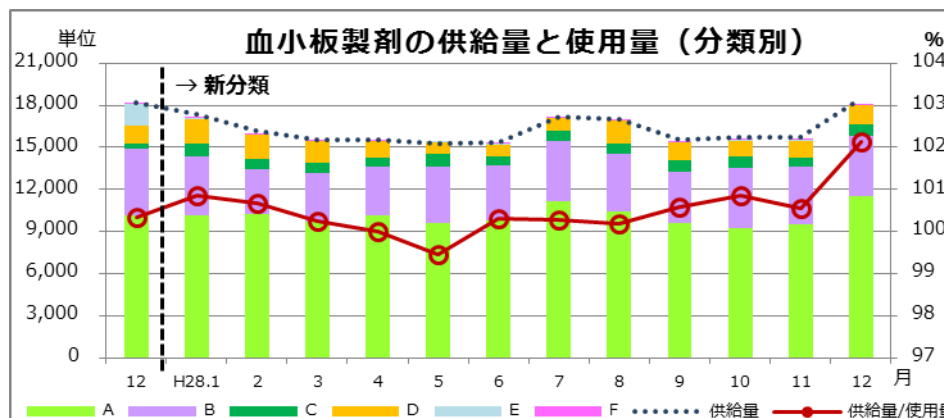
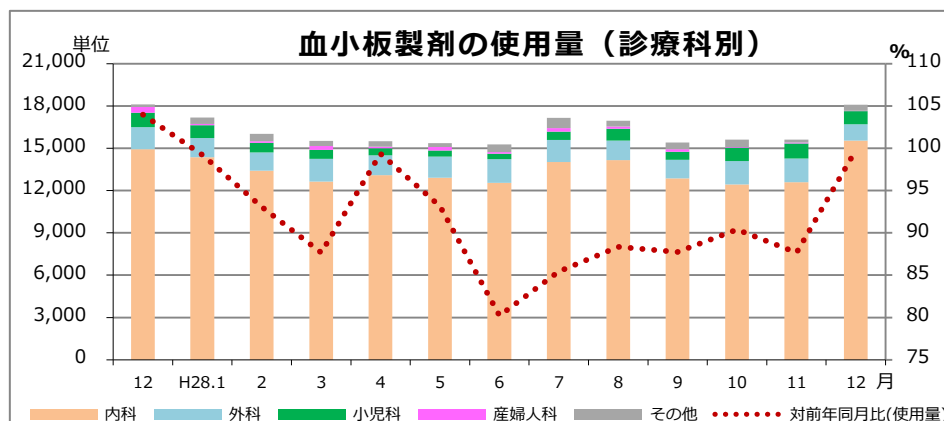


● 血小板製剤

分類	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	11,515	9,910	675	475	20	435	11,515	100.0
B	4,265	3,420	405	440	0	0	4,265	100.0
C	890	890	0	0	0	0	890	100.0
D	1,305	1,210	95	0	0	0	1,305	100.0
E	30	30	0	0	0	0	30	100.0
F	85	85	0	0	0	0	85	100.0
集計	18,090	15,545	1,175	915	20	435	18,090	100.0

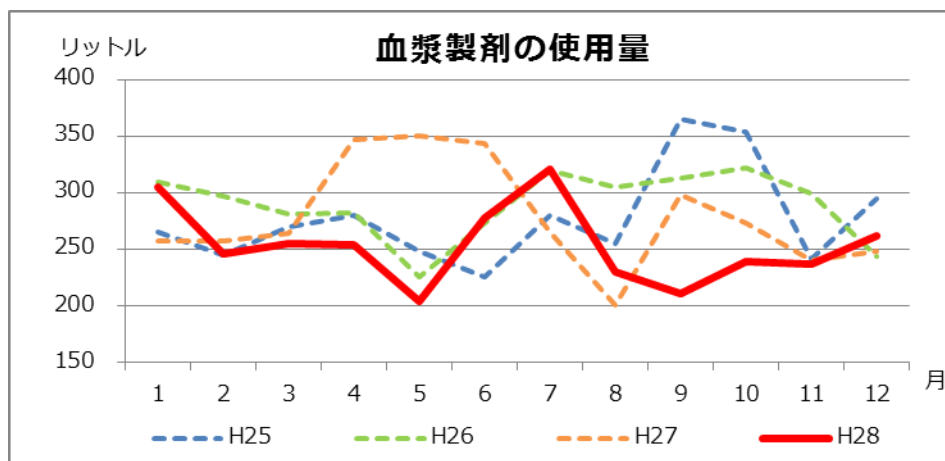


	AVERAGE
H25	16,438
H26	17,009
H27	17,793
H28	16,150

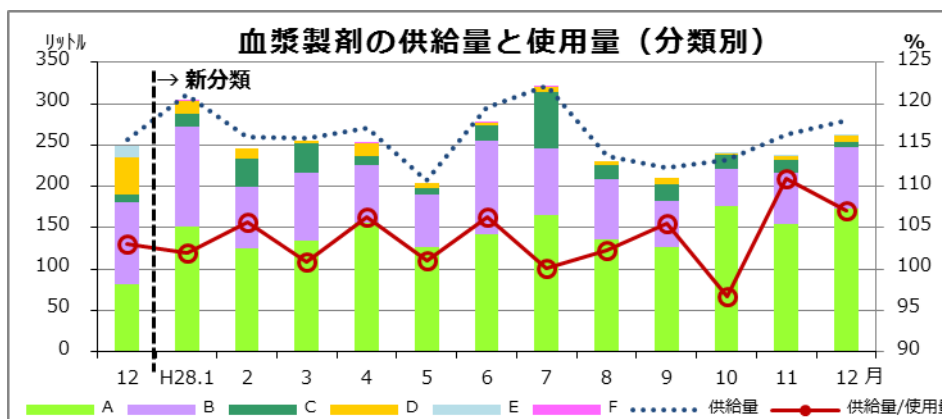
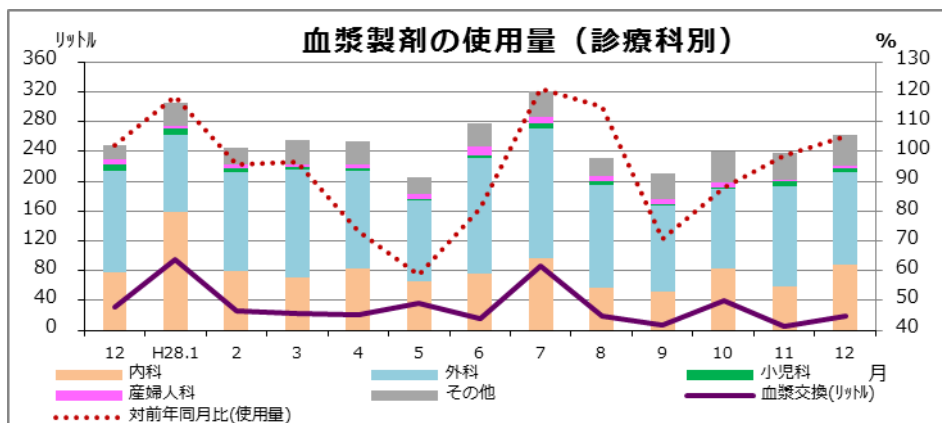


● 血漿製剤

分類	全体の使用量		診療科別						
	(リットル)	血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	割合(%)
A	173.16	19.44	60.48	66.00	4.68	1.92	40.08	173.16	100.0
B	74.40	0.00	21.36	50.64	1.20	1.20	0.00	74.40	100.0
C	6.72	0.00	2.64	3.84	0.00	0.24	0.00	6.72	100.0
D	7.08	0.00	3.12	3.96	0.00	0.00	0.00	7.08	100.0
E	0.24	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	100.0
F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	#DIV/0!
集計	261.6	19.44	87.84	124.44	5.88	3.36	40.08	261.60	100.0

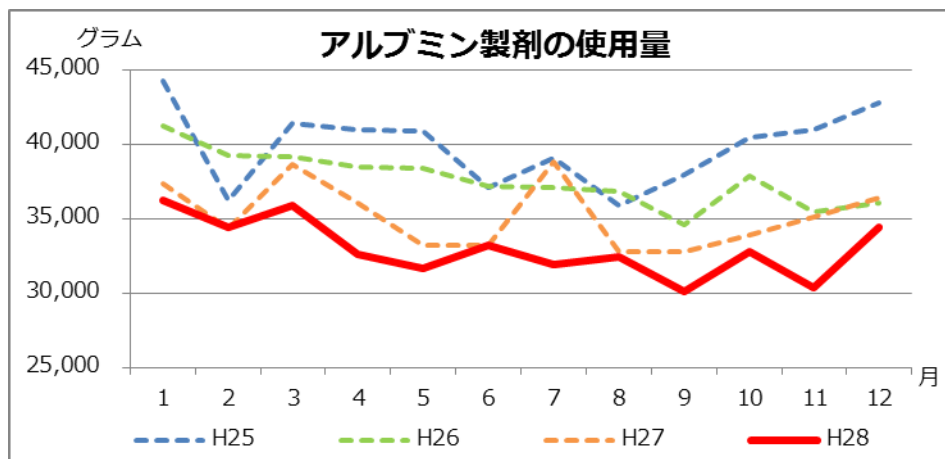


	AVERAGE
H25	277.2
H26	289.3
H27	278.8
H28	253.7

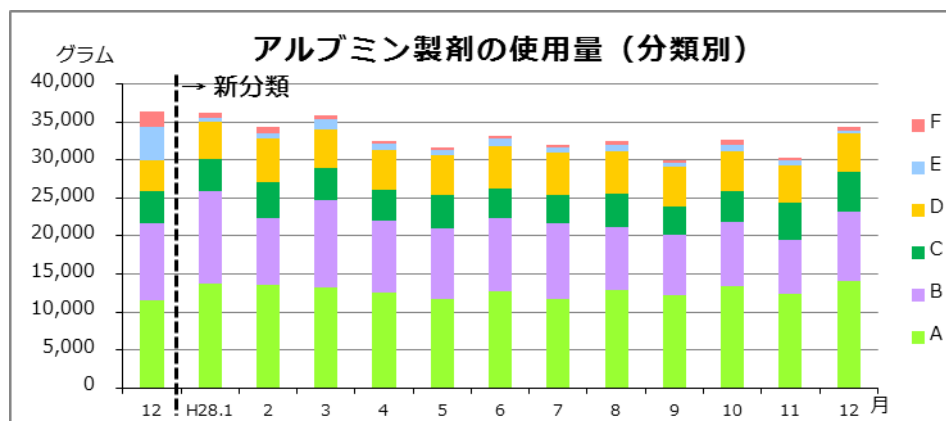
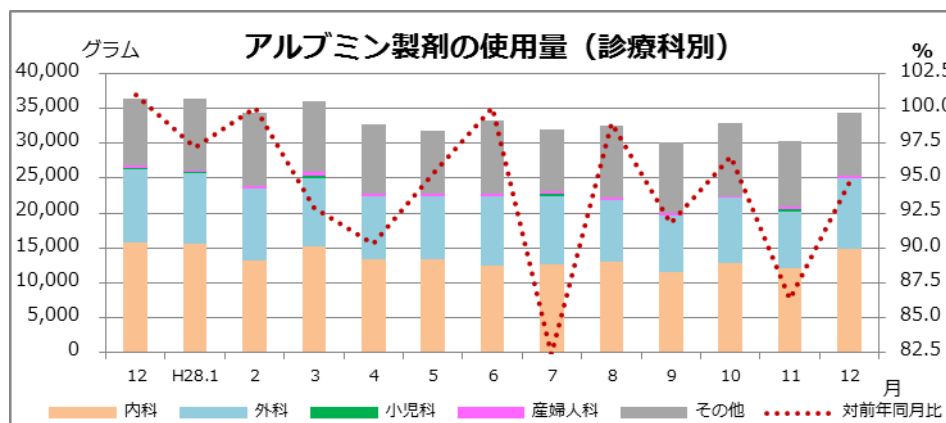


●アルブミン製剤

分類	全体の使用量 (グラム)	診療科別					計	割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	14,135.0	3,515.0	1,980.0	112.5	127.5	8,400.0	14,135.0	100.0
B	9,078.5	3,525.0	5,441.0	12.5	75.0	25.0	9,078.5	100.0
C	5,190.5	3,440.0	1,177.0	0.0	0.0	573.5	5,190.5	100.0
D	5,126.5	3,875.0	1,081.5	0.0	50.0	120.0	5,126.5	100.0
E	400.0	275.0	125.0	0.0	0.0	0.0	400.0	100.0
F	490.0	280.0	210.0	0.0	0.0	0.0	490.0	100.0
集計	34,420.5	14,910.0	10,014.5	125.0	252.5	9,118.5	34,420.5	100.0

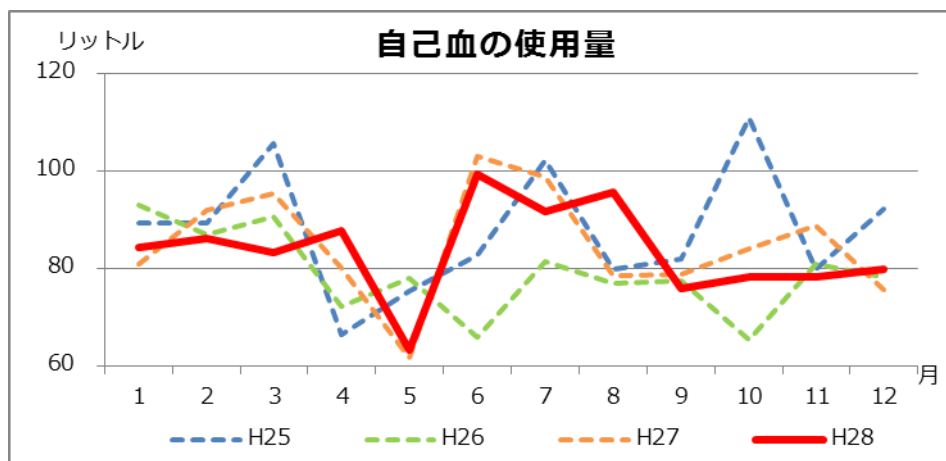


	AVERAGE
H25	39,845.4
H26	37,652.4
H27	35,236.0
H28	33,014.3

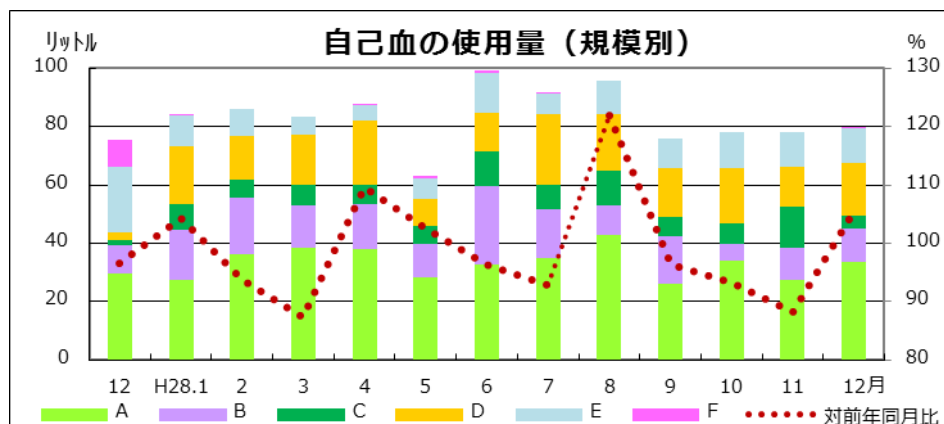


●自己血

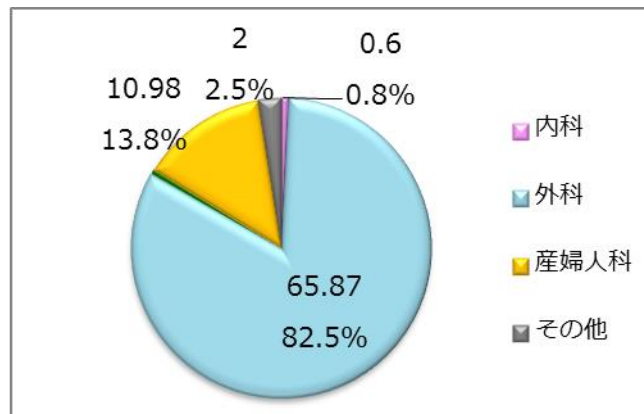
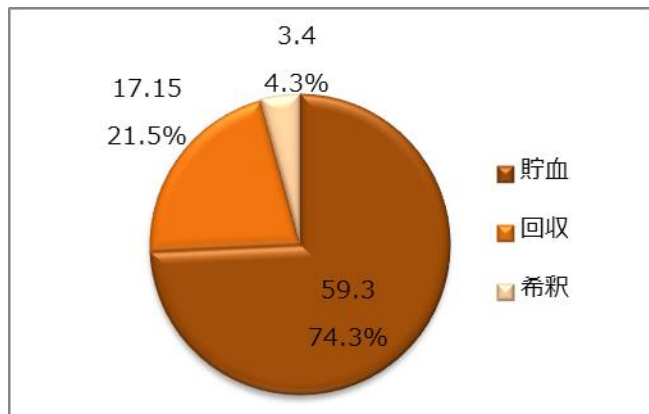
分類	自己血使用量 (リットル)				診療科別						
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	割合(%)
A	17.200	13.062	3.400	33.670	0.600	24.462	0.000	7.000	1.600	33.670	100.0
B	8.780	2.588	0.000	11.370	0.000	7.788	0.400	3.180	0.000	11.370	100.0
C	2.800	1.500	0.000	4.300	0.000	3.500	0.000	0.800	0.000	4.300	100.0
D	18.120	0.000	0.000	18.120	0.000	17.720	0.000	0.000	0.400	18.120	100.0
E	12.000	0.000	0.000	12.000	0.000	12.000	0.000	0.000	0.000	12.000	100.0
F	0.400	0.000	0.000	0.400	0.000	0.400	0.000	0.000	0.000	0.400	100.0
集計	59.300	17.150	3.400	79.860	0.600	65.870	0.400	10.980	2.000	79.860	100.0



AVERAGE	
H25	88.0
H26	78.9
H27	84.8
H28	83.7

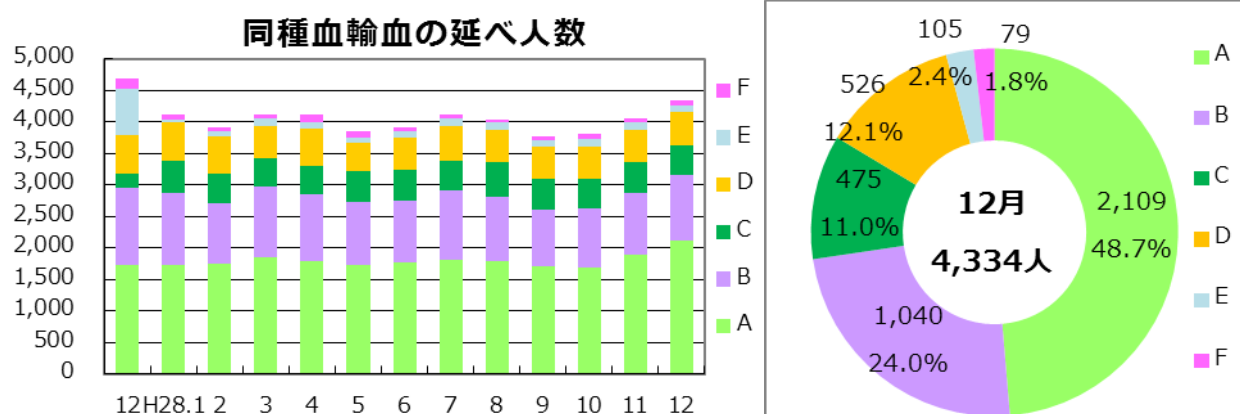


【自己血輸血の種類、診療科別の割合】



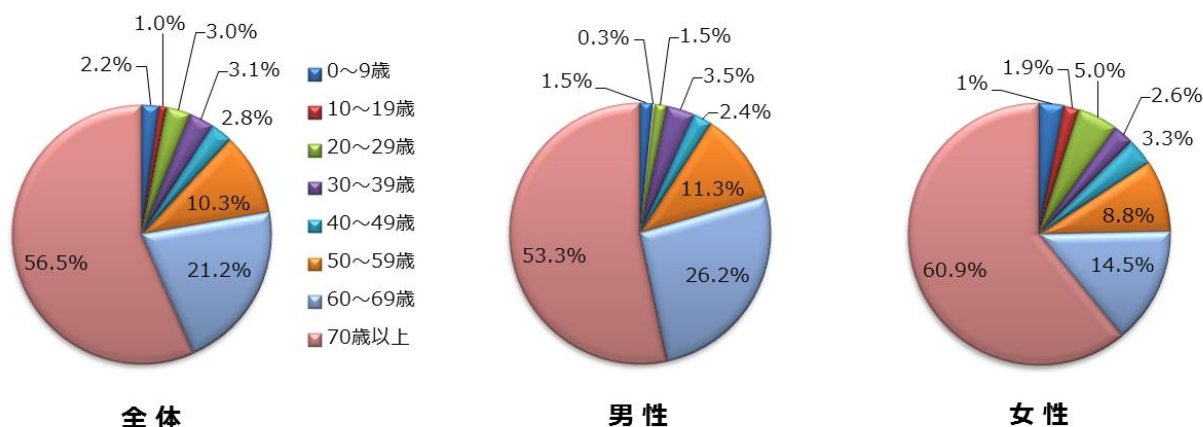
●輸血実施患者数（延べ人数）

2016年12月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	2,109	1,040	475	526	105	79	4,334
1床あたり	0.64	0.32	0.19	0.15	0.10	0.08	0.30
自己血	66	24	11	31	16	2	150
アルブミン	493	451	299	273	22	27	1,565



【男女別年代別の同種血輸血延べ人数】

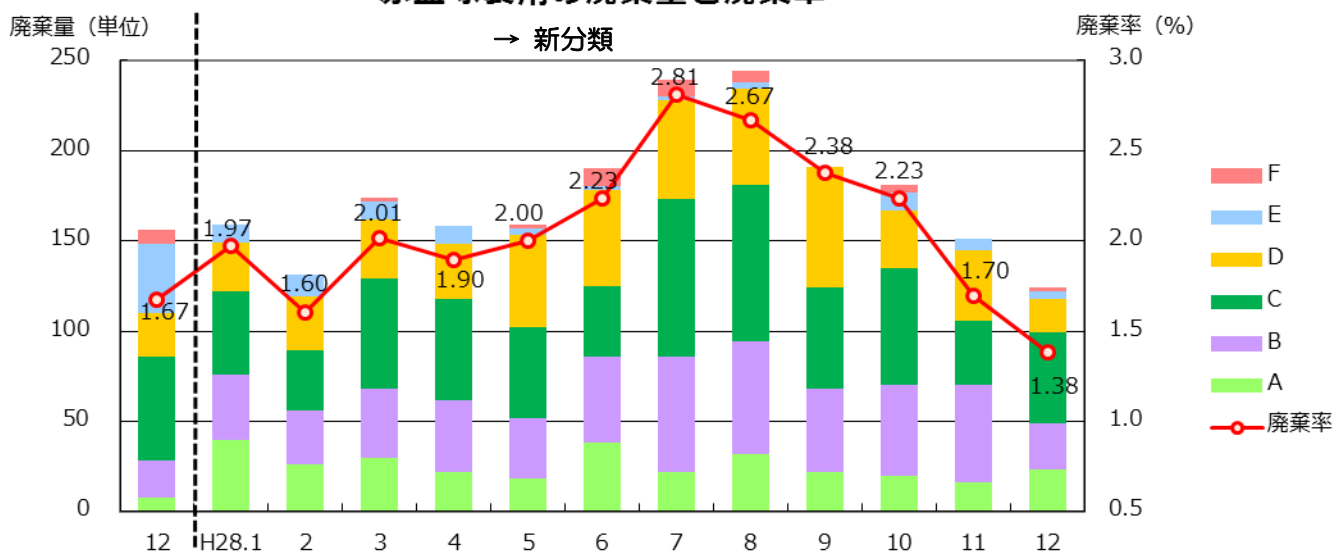
2016年12月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	28	5	28	65	44	210	485	989	1,854
女	42	26	68	35	45	121	198	833	1,368
計	70	31	96	100	89	331	683	1,822	3,222



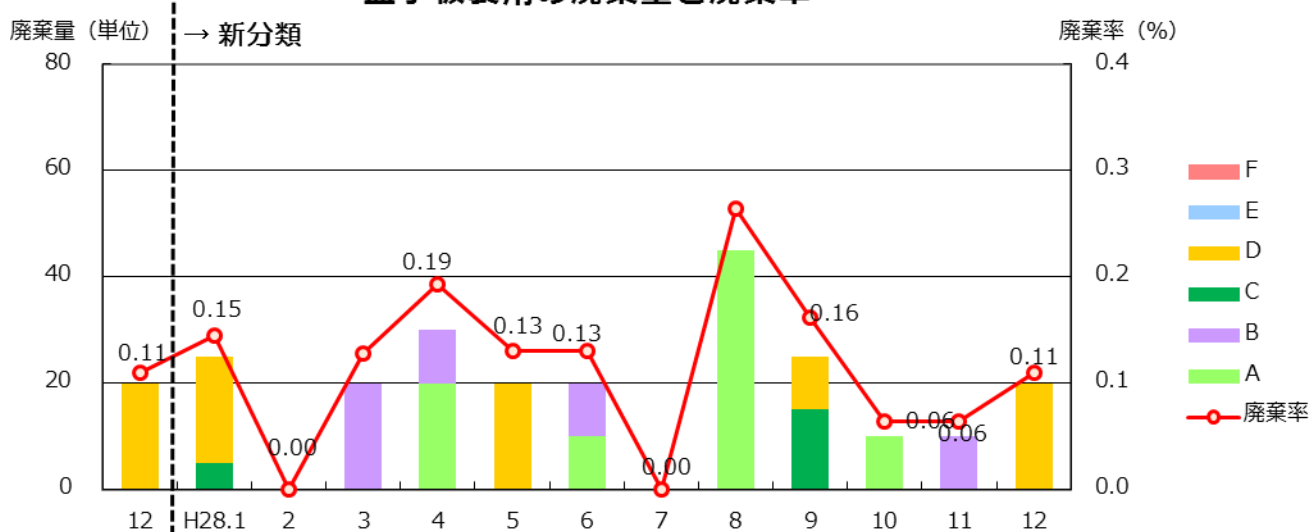
● 血液製剤及び自己血の廃棄量(率)

2016年12月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤 (単位)	23	26	50	19	4	2	124
血小板製剤 (単位)	0	0	0	20	0	0	20
血漿製剤 (リットル)	4.8	2.9	0.2	0.0	0.0	0.0	7.9
自己血 (リットル)	3.9	1.6	0.0	0.4	0.0	0.0	5.9

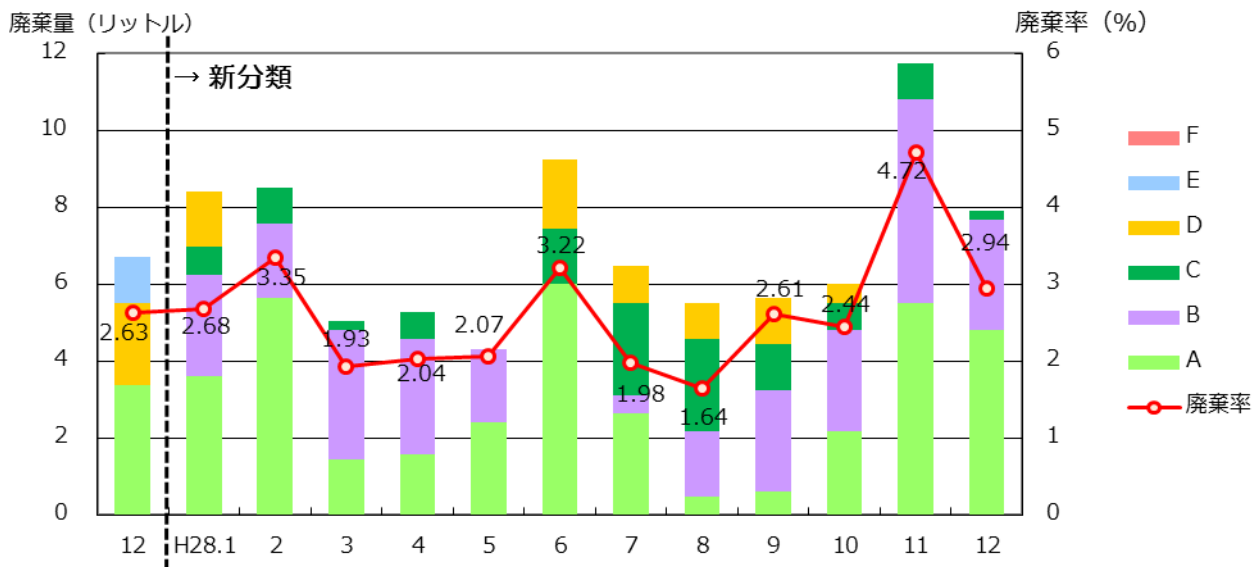
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



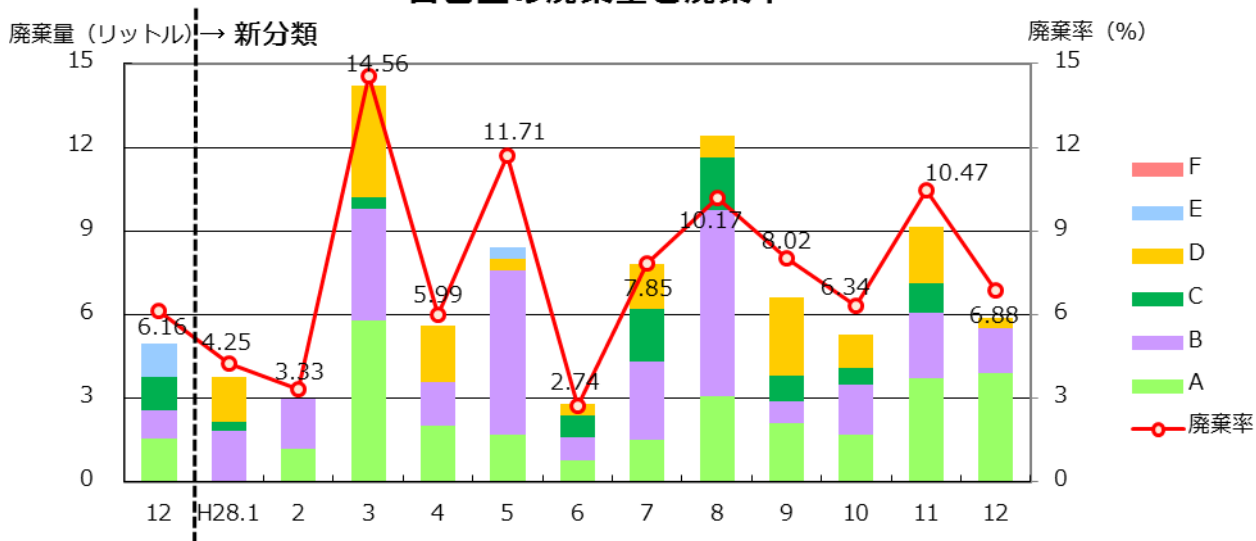
血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量と廃棄率



【施設分類について】

平成 28 年 1 月より、従来の一般病床数による分類から救急病院を考慮した分類に変更した（下表）。したがって、過去データとの比較は参考程度にみていただきたい。

分類	病院名	分類	病院名
A 三次救急病院 <6施設> 従来: 500床以上の病院	新潟大学医歯学総合病院	E 救急病院 (100床未満) <18施設> 従来: 100~199床 の病院	見附市立病院
	新潟市民病院		中条中央病院
	長岡赤十字病院		魚沼市立小出病院
	県立中央病院		斉藤記念病院
	県立新発田病院		猫山宮尾病院
	魚沼基幹病院		町立津南病院
B 救急病院 (300床以上) <8施設> 従来: 400~499床 の病院	厚生連長岡中央総合病院		山北徳洲会病院
	立川総合病院		県立妙高病院
	県立がんセンター新潟病院		佐渡市立両津病院
	済生会新潟第二病院		県立柿崎病院
	厚生連柏崎総合医療センター		県立松代病院
	新潟労災病院		県立津川病院
	厚生連佐渡総合病院		北日本脳神経外科病院
厚生連上越総合病院	柏崎中央病院		
C 救急病院 (200~299床) <10施設> 従来: 300~399床 の病院	厚生連新潟医療センター		知命堂病院
	信楽園病院		上村病院
	県立十日町病院		南魚沼市立ゆきくに大和病院
	下越病院		佐渡市立相川病院
	厚生連糸魚川総合病院		
	燕労災病院		
	厚生連村上総合病院		
D 救急病院 (100~199床) <22施設> 従来: 200~299床 の病院	三之町病院	F 救急でない病院 <17施設> 従来: 100床未満の病院	西新潟中央病院
	木戸病院		あがの市民病院
	新潟中央病院		新潟リハビリテーション病院
	厚生連豊栄病院		南部郷厚生病院
	厚生連三条総合病院		みどり病院
	済生会三条病院		北越病院
	県立吉田病院		東新潟病院
	小千谷総合病院		新潟万代病院
	亀田第一病院		日本歯科大学医科病院
	厚生連魚沼病院		厚生連瀬波病院
	桑名病院		西蒲中央病院
	新潟南病院		椿田病院
	新潟臨港病院		新潟西蒲メディカルセンター病院
	県立坂町病院		聖園病院
	県立加茂病院		村上記念病院
	新潟病院		厚生連中条病院
	新潟脳外科病院		佐和田病院
	上越地域医療センター病院		
	南魚沼市民病院		
	新潟白根総合病院		
	新津医療センター病院		
	長岡西病院		
南部郷総合病院			
厚生連けいなん総合病院			
富永草野病院			